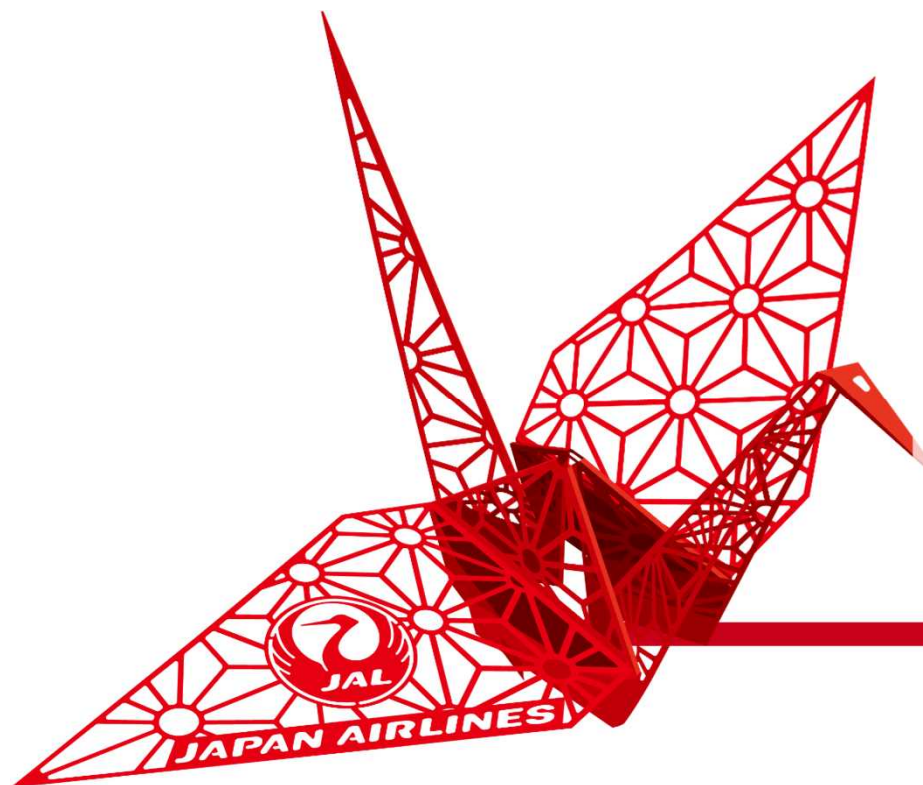




【第1回官民協議会ご説明資料】



JALグループにおける SAFの取り組みについて

日本航空株式会社
常務執行役員 斎藤 祐二

2022年4月22日(金)



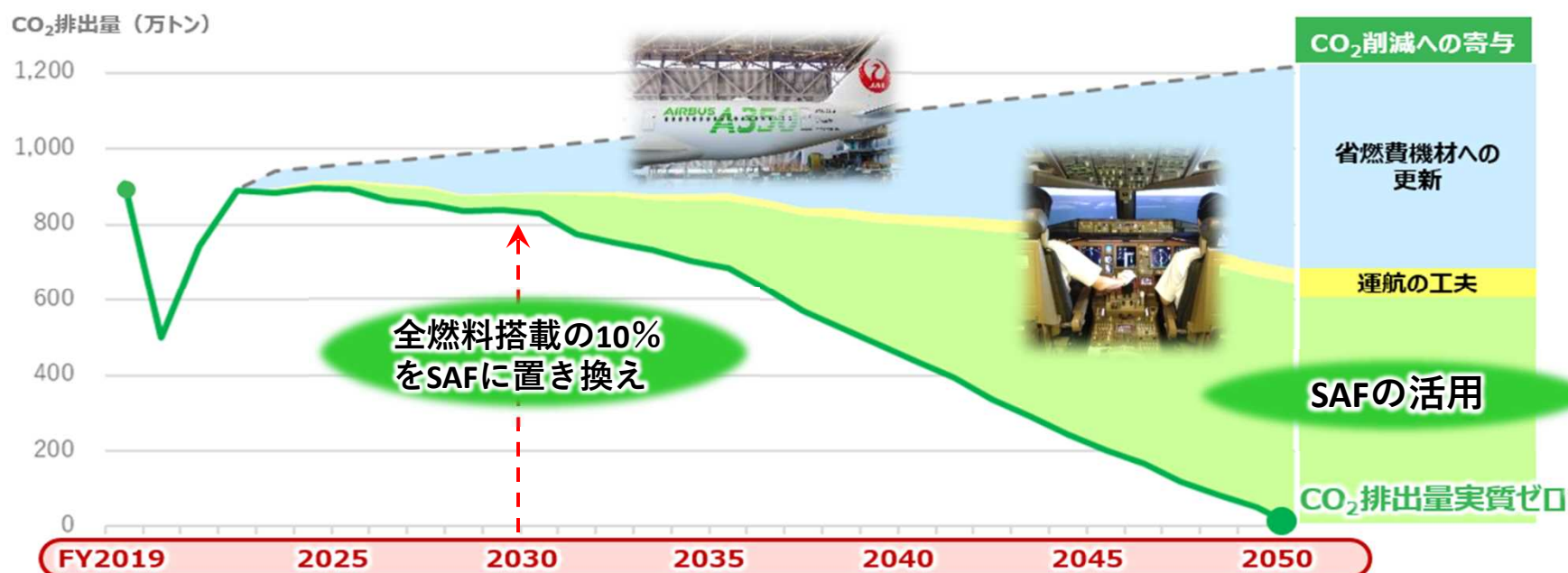
JAPAN AIRLINES

JALグループの中長期計画



JALグループのCO2排出量実質ゼロに向けたロードマップ

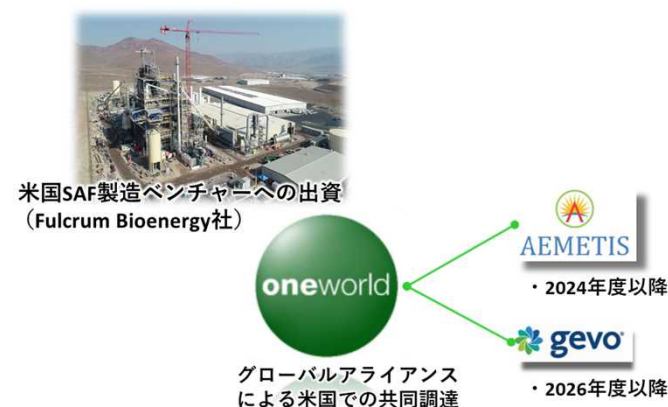
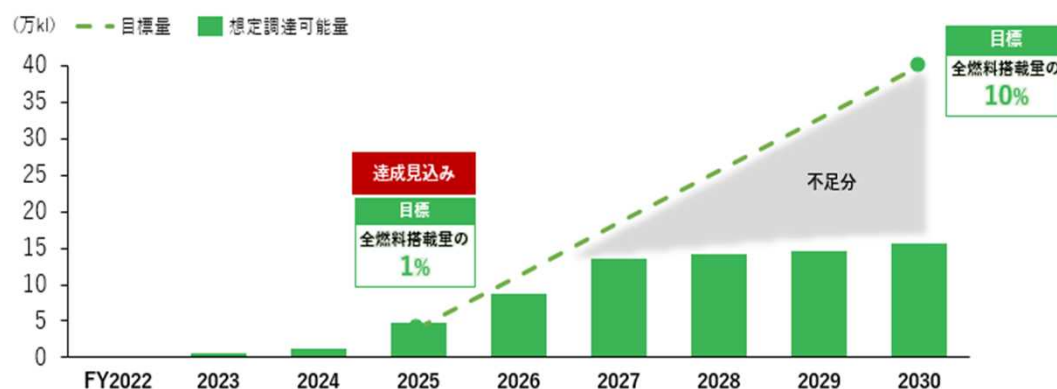
中期経営計画



- ✓ **2050年にCO₂排出量実質ゼロを目指す**ことを2020年6月に発表いたしました。航空業界におけるCO₂削減には様々な手段がございますが、その大半は化石燃料のSAFへの置き換えが必要です
- ✓ **2030年には全燃料搭載の10%をSAFに置き換える**事を目標としており、2050カーボンニュートラルに向け、その中間地点であるこの目標についても必ずクリアしていかなければならないものと考えております。

SAFの安定的な確保に向けて

SAFの安定的な確保に向けた取り組みと課題について



- ✓ 2030年に全燃料搭載量の10%をSAFに置き換えるという目標達成に向け、海外での共同調達など進めておりますが、まだまだ足りない状況です。(必要量約40～50万kl程度)
- ✓ 今後、各国でのSAF確保に向けた動きも、より一層活発化してくるため、国内空港において安定的に供給できる体制構築は急務であり、そのためには**国産SAFの量産化が不可欠**です。
- ✓ 国産SAFが量・価格ともに安定的に供給されるよう原料調達から製造、利用における一連のサプライチェーンにおける課題を製造者、利用者の双方向で提起し、解決に向けて協議してまいりたいと思います。